

第 22 回大会 実施要項及び注意事項

2025 年 1 月 12 日

1. 試合ルール等に関しては全軟連野球規約に準ずるものとする。特別ルールは本大会にて決定し実行する。
 - ✓ グランド特別ルールがありますので試合前に大会審判員に確認してください。
2. 本大会は単独チーム(ただし、大会実行委員会が認めたチームはこの限りでない)によるトーナメント方式の形式で行う事とする。選手は小学生 5 年生以下 9 名以上 25 名以内の登録された選手で試合を行う事とする。*指名打者制度(DH 制)は導入しません。
 - ✓ 提出済み選手登録書からの変更および追加は、チーム初戦時のメンバー表提出の際に大会受付にて変更登録を済ませてください。それ以降の変更は認められません。
3. ベンチ入りできる大人は、チーム代表者、監督、コーチ(2 名)、スコアラー、父母引率者、及び選手の世話係(女性)2 名とし、合計 8 名までとする。ユニホーム着用の監督・コーチは 3 名以内とする(選手世話係以外はチーム帽子着用)
 - ✓ 監督およびコーチは選手と同一デザインであること。裾幅の広いストレートタイプのズボンは禁止する。
 - ✓ チームの責任者、父母引率者、スコアラー、世話係は品位のある服装であること。ユニホームのズボン、半ズボン、ぞうり、サンダル等は不可。
4. 試合は 6 回戦とする。但し、試合開始後、1 時間 30 分経過以降は新しい回には入らない。
 - ✓ 後攻チームの攻撃中に制限時間に達した場合、後攻チームが勝っている場合は制限時間に達した時点で、当該打者の打撃終了をもって後攻チームの勝ちとする。制限時間に達した後、同イニングに後攻チームが逆転した場合は、逆転の後攻チームの勝ちとする。
 - ✓ 強風、日没、降雨などにより続行不可能の場合は 4 回にて試合成立とする。
5. 次の打者は自軍のネクストバッタースサークル内で立って待ち、素振りはないこと。
6. 6 回終了時又は上記時間を過ぎて同点の場合は、延長戦は行わずタイブレーク方式を行う。最大 2 イニングまで補回とし、決しない場合は抽選により勝敗を決める。

タイブレーク方式： 終了時の継続打順とし、無死一・二塁の状態にして試合を行う。
7. 得点差によるコールドゲームを採用する。
 - ✓ 本大会においては 3 回 10 点、4 回以降 7 点差コールドとする。
8. 投手の投球制限については、次の通りとする。
 - ✓ 一日一人、70 球以内とする。(投手は現 4,5 年生に限る)
 - ✓ ダブルヘッダーの場合も、一日一投手 70 球以内とする。
 - ✓ 試合中に 70 球に達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
 - ✓ ボークにもかかわらず投球したものは、投球数とする。
 - ✓ 6 回終了して同点でタイブレークになった場合は、「6 回終了後の投手が」一日 70 球以内であれば引き続き投球することができる。すなわち、通算で 70 球以内とする。
9. 抗議権は監督及び当該選手のみとする。
10. タイムの制限については、攻撃時と守備時に各 3 回以内とする。タイブレークになった場合には 2 イニングに各 1 回認める。
11. 選手の交代は、必ず監督が球審に申し出ること。

- ✓ 監督が不在の時は、コーチを監督代行として認める、メンバー表提出時に記載しその旨を伝えること。
 - ✓ 試合中の選手交代は迅速に行うこと。
 - ✓ ランナーコーチは選手とする。
12. 監督が審判員に打者を故意四球とする意思を示すことで、打者が一塁への進塁を許されるものとする。
13. 打者が頭部にヒット・バイ・ピッチを受けた際は、臨時代走を送ること。
14. ベンチ内での電子機器(携帯電話・パソコン等)及び携帯マイクの使用を禁止する。メガホンはベンチ内に限り 1 個の使用を認める。
15. 用具については、打者、走者、次打者は両側にイヤードフラップの付いたヘルメットを着用する。(ベースコーチ/バットボーイ/ボールボーイもヘルメット着用) 捕手は、レガース、プロテクターおよびファールカップを必ず着用する事。サブキャッチャーの準備をお願いします。
- ✓ 金属バット、捕手用防具は全軟連公認(J.S.B.B)のものに限る。
 - ✓ 複合バットについては「少年用」明記のバットのみを使用可能とする。
16. 試合のスコアは、スコアラーが記録を正確に所定のスコアカードに記入して、試合終了後、球審のサイン記入の上本部に提出すること。
17. プレーに関しての危険な行為に対しては審判員が厳重に注意し、ペナルティーをかける。
18. 次試合の投手の投球練習は、先発バッテリーのみ前の試合が開始 1 時間を過ぎてからできる。投球練習には背番号をつけた指導者 1 名を安全管理者として補助を認める。
19. 本大会の目的である交流を深め、少年の健全育成のため品位ある言動を心がけて下さい。(応援も同様です。)
- ✓ 対戦相手のチームに対してのヤジや個人攻撃は謹む事。
 - ✓ ネット裏は試合当該チームの関係者は立ち入り禁止(カメラ設置不可)
 - ✓ 試合中のライブ配信およびネットへ試合をアップするなどの行為を禁止する。
 - ✓ ベンチ入り以外のチーム関係者は、観客席等から自チームの選手に指示を出すことを禁止する。
 - ✓ 応援は決められた場所で応援すること。楽器や鳴り物となる器材は使用しないこと。

【防寒具使用の制限】

1. ベンチ内での着用を認める
2. 控え選手、イニング間の投球練習中やボールボーイおよびバット引きなどグラウンド上での着用を認める。
3. ランナーコーチ、投手が走者になった場合の着用を認める
4. 試合前のアップ時、監督と補助員としてコーチおよび選手の着用を認める
5. 上記以外の着用については、当日の天候により審判団と大会本部で決定する
6. 監督がタイムや抗議権または申告敬遠などを使用する際は、グラウンドコートを脱ぎ、背番号を審判団に提示する必要がある

【注意事項と確認事項】

- 試合開始時間 30 分前までに指定の記録部机にてメンバー表(4 枚)のチェックを受けて下さい。ベンチおよび先攻後攻はメンバー表提出時に抽選を行います。
- 試合会場は全て敷地内全面喫煙禁止です。
- 会場の駐車場については大会ホームページ上の「来場時の駐車場使用の注意点」に従い、適切な場所に駐車をお願いします。
- 球場への移動中の事故や球場内での選手、幼児などの事故等には充分注意をしてください。万が一、事故にあった場合は、当実行委員会及び主管連盟はその責任は持たないものとする。
- 三回戦までは 2 名の帯同審判のご協力をお願いします。(審判服着用・球審の用意)
- 準々決勝以降の試合は大会審判部が担当する。
- 担当する試合開始の 30 分前までに、試合会場の大会本部前に集合願います。
- 万一到着が遅れる場合(試合開始 30 分前)は運営本部まで連絡を入れて下さい。連絡を怠り試合開始時間迄到着されなかった場合は棄権とみなしますので注意して下さい。